

---

## 進路教育部会

---

一人ひとりにあった、生きる力をつけるためのキャリア教育はどうあるべきか

### ～小・中における授業実践を通して～

#### I 研究の内容

##### 1 研究方法

- (1) キャリア教育の在り方についての基本的な知識を学ぶ。
- (2) 各小中学校での「進路指導」関連の実践や資料を持ち寄り、発表し協議する。
- (3) 公立高校入試制度改革後4年が経過する中で、入試における現場での課題点を各中学校でまとめ、県教研などの機会を捉え、各方面に報告する。

##### 2 研究の具体的内容

###### (1) 実践・資料発表

- ①山梨北中・・・2年生職場体験学習（職業調べ学習も含め）
- ②塩山北中・・・「生き方を学ぶ」学習（青年海外協力隊派遣者から）
- ③塩北小・・・学力を育てる土壌づくり（金銭教育を通して）
- ④八幡小・・・キャリア教育全体計画
- ⑤松里中・・・キャリアアドバイザーについて
- ⑥祝小・・・職場見学について（地域の歴史・文化を学ぶ）
- ⑦山梨南中・・・2年生職場体験学習（地域との連携）

###### (2) 公立高校入試制度（前期・後期入試）の課題点

- イ 前期入試についての集計結果を持ち寄り、内容について協議し、部会としてまとめ直す。
- ウ 県教研において、持ち込み資料として提示し意見交換をする。

###### (3) 授業実践

- ア 山梨北中（辻純二教諭）・・・「受験期を迎えるにあたって」  
～高校説明会・オープンスクールに参加して～
- イ 八幡小（小林淳子教諭）・・・いつもありがとう  
（道徳の授業を通してキャリア教育の心を育てる）

###### (4) 理論研究会

- ア 総合教育センター主幹研修主事 志村憲一先生をお迎えして、「キャリア教育の在り方」～小・中の連携を含めて～の学習を行った。

## II 成果と課題

### ◇成果として

- ・夏季学習会「キャリア教育の在り方」では、教育センターから志村先生をお招きし、キャリア教育の最新事情を学ぶことができ、とても勉強になるよい機会となった。
- ・キャリア教育についての情報がない中で、夏季学習会は、キャリア教育についての学習を深めることができた。
- ・小中の両方の授業が参観できたことで、発達段階に応じた指導の違いが見られてとても勉強になった。
- ・授業研究は、小中それぞれの先生方が普段見ることのできない子どもの様子や、授業の内容について学ぶことができてよかった。研究テーマにもせまることができた。
- ・各校の実践報告が、とても勉強になった。多くの取り組みが、自校のキャリア教育にも参考になった。
- ・高校入試制度の課題等を出し合えたことはよかった。

### ◆課題として

- ・中学校の実践は、職場体験が多く、さまざまな事例を学ぶことができるが、他教科のキャリア教育に関わる実践も報告していただけると、もっと広がると思う。
- ・高校入試制度の課題をさらに明らかにしていく必要がある。
- ・県外研修も含め、先進的なキャリア教育の実践を見られる機会があるとよかった。

### ○その他（理論研究にもとづいた授業実践について）

- ・「キャリア教育の視点」を再認識でき、小中の連携の大切さ、つなぎの意識を持った指導の在り方を共通理解できたのではないかと思う。
- ・キャリア教育に関わっての授業研究を通して、道徳授業についても学ぶことができた。
- ・夏季学習会「キャリア教育の在り方」の講演の中にも、学習意欲の向上や学習習慣の確立のためにキャリア教育を行う意義がある。このことから、小中の授業実践が、理論研究に基づいて、実践されていたと思う。

## 3 全体を通して

- (1) キャリア教育を、学活の授業だけでなく、他教科の授業の中にも生かし、実践していけるような取り組みを考えていきたい。
- (2) 進路指導・キャリア教育の意義や目標など理論的なことを学ぶことができたので、来年度も継続していきたい。
- (3) 今後も高校入試の課題については継続してまとめていき、県教研などの場でよりよい方向を模索していく。

(部長 加山 大洋)